

7:37 さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立ち上がり、大きな声で言われた。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。」

7:38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」

7:39 イエスは、ご自分を信じる者が受けることになる御霊について、こう言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったもので、御霊はまだ下っていなかったのである。

7:40 このことばを聞いて、群衆の中には、「この方は、確かにあの預言者だ」と言う人たちがいた。

7:41 別の人たちは「この方はキリストだ」と言った。しかし、このように言う人たちもいた。「キリストはガリラヤから出るだろうか。」

7:42 キリストはダビデの子孫から、ダビデがいた村、ベツレヘムから出ると、聖書は言っているではないか。」

7:43 こうして、イエスのことで群衆の間に分裂が生じた。

7:44 彼らの中にはイエスを捕らえたいと思う人たちもいたが、だれもイエスに手をかける者はいなかった。

7:45 さて、祭司長たちとパリサイ人たちは、下役たちが自分たちのところに戻って来たとき、彼らに言った。「なぜあの人を連れて来なかったのか。」

7:46 下役たちは答えた。「これまで、あの人のように話した人はいませんでした。」

7:47 そこで、パリサイ人たちは答えた。「お

まえたちまで惑わされているのか。

7:48 議員やパリサイ人の中で、だれかイエスを信じた者がいたか。

7:49 それにしても、律法を知らないこの群衆はのろわれている。」

7:50 彼らのうちの一人で、イエスのもとに来たことのあるニコデモが彼らに言った。

7:51 「私たちの律法は、まず本人から話を聞き、その人が何をしているのかを知ったうえでなければ、さばくことをしないのではないか。」

7:52 彼らはニコデモに答えて言った。「あなたもガリラヤの出なのか。よく調べなさい。ガリラヤから預言者は起こらないことが分かるだろう。」

7:53 「人々はそれぞれ家に帰って行った。

いよいよイエス様は、大声で人々に宣教を始めました。祭りの日には大勢の人々が世界の各地から集まっていたのです。またそのことによって、ユダヤ人の中では分裂が起こりました。

福音の宣教によっては、賛同する人もあれば、反対する人もあり、分裂が起こることもありうることです。しかし、このニコデモのように、真理に根ざした考えを持っている人もいます。彼はイエス様のもとに行って、教えを乞い、真摯に求道していたのです。

恐れずに大胆に真理を語るべきです。誰が信じるかは主の主権にゆだねましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

